

テーマ	子どもが意見を述べる場の提供
区市町村	小金井市
児童館名	小金井市児童館（本町児童館、東児童館、貫井南児童館、緑児童館）
活動名	小金井市児童館四館合同事業「じどうかんフェスティバル2019」
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小金井市子どもの権利に関する条例（平成21年度制定）の制定10周年記念事業</li> <li>・条例にある子どもの意見表明とそれを実現化する施設の責任に則り、子どもたちがイベントの企画・準備・当日の運営までを主体的に行う。</li> <li>・子どもの権利について、子ども自身で考える機会を設ける。</li> </ul>
主な対象	小学生から中・高校世代まで
活動の経緯 実践内容	<p>&lt;事業実施についての経緯&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小金井市の児童館では、各児童館で又は合同事業で子どもたちの意見を活かした事業に取り組んできていたが、上記条例が制定されたことを契機に、条例の一部に則った大きな事業に取り組むこととし、平成22年度以来、市の児童館が合同で子どもたちを主体としたイベントを実施してきた。</li> <li>・内容は毎年違うイベントにつなげてきたが、平成25年度より子どもたちが手作りする遊びと展示、子どもたちの自由なステージ上のパフォーマンスを中心にした児童館の祭り「じどうかんフェスティバル」とし、毎年継続性を持たせて実施してきている。</li> <li>・このイベントは子どもたちの持つ発想力を活かすだけでなく、交流や継続性を目的に企画、準備を各児童館で「子ども会議」を定期的に行き、子どもたちは「スタッフ」としてそのまま当日の運営まで主体的に行う。</li> </ul> <p>&lt;じどうかんフェスティバルの内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当日の会場はこれまで市内の小学校の体育館、または市民ホールを借りる。</li> <li>・子どもスタッフは自分の児童館の「ブース」作りと運営を行う。児童館ブースはこれまでにゲーム、昔遊び、屋台、日常的な活動の発表や展示が主で、毎年個性的なものになっている。</li> <li>・それと並行して各児童館で日常的に活動（またはこのイベントのために練習）する子どもたちのダンスやバンドの演奏といった、様々なステージ発表も行う。</li> <li>・ステージの司会進行も子どもたちが行う。</li> </ul> <p>&lt;交流&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各児童館の子どもスタッフとステージ出演者同士の交流を目的に、実施までに2回程度の全体会を実施。それぞれの企画を発表したり一緒に共同物品（看板やめくり等）を制作する。</li> <li>・全員で互いの活動を応援し合うことを目的に、ステージ発表については、自分たちの出番が終わっても帰らずに最後まで他の出演者を応援する。</li> </ul>

<p>活動の経緯 実践内容</p>	<p>&lt;市の子どもの権利に関する条例制定10周年記念事業 じどうかんフェスティバル2019&gt; 令和元年11月17日(日) 午前11時から午後4時まで</p> <p>会場 小金井 宮地楽器ホール(市民交流センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで同様に子どもたちオリジナルのゲームや展示、ステージのパフォーマンスに加えて、当日集まった子どもたちから集めた「様々な意見や希望」を大きな紙に貼り付けた「権利の木」の作成と発表、小学生から中・高校生までの5組が、舞台上でスピーチする「子どもたちの主張」を行った。この主張は実際に市長の前で話すことができた。</li> <li>・子どもの権利に関して活動する市民団体が5団体協力。様々な掲示と展示、遊びのコーナーを担当してくれた。</li> <li>・ステージの総司会は6年生の女子児童1人が努めた。</li> <li>・子どもスタッフは当日の午前9時から会場準備に入り、終了後の片付けも職員や大人のボランティアと協力して行った。</li> <li>・子どもスタッフ、ステージ出演者合同で終了後に反省会を実施。感想や今後の要望等について話し合った。</li> <li>・中学生から大人までは、最後に別途反省会を行い、再度このイベントの意義や子どもの権利について話しあう機会を設けた。</li> </ul>
<p>効果や課題</p>	<p>&lt;結果について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当日は晴天に恵まれ、一般来場者も含め650人以上の参加で賑わった。</li> <li>・今回のメインとした「子どもたちの主張」について、不登校の中学生が自分の今の気持ちを話す場面は列席した大人の胸にも響くものがあったという感想があった。</li> <li>・事業全体としても10年目を迎えたが、子どもスタッフやステージの出演を毎年継続する子どもたちが多く、その多くがボランティアとして今もかかわっていることを再確認した。</li> </ul> <p>&lt;子どもの権利について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回子どもだけでなく多くの大人が参加したこともあり、改めて子どもの権利に対して多くの人が考える機会を持てる機会となった。</li> <li>・児童館職員にとっても、子どもの権利について活動する市民団体が多くいること知る機会になった。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に多忙な子どもたちが平日に集まる機会を定例的に作ることは容易ではなく、どの児童館も新規のスタッフの募集には苦勞している。</li> </ul>
<p>活動写真</p>	

## 児童館のプロフィール

児童館名	小金井市本町、東、貫井南、緑児童館（市の児童館は左記4館）
運営主体	東児童館が公設民営（NPO法人へ業務委託）、その他が公設公営
所在地・電話番号	緑児童館 小金井市4-18-25 042-383-6910
開館日・時間・休館日	開館時間 午前9時から午後5時まで（一部開館延長あり） 休館日 日祝・月末日・